

八戸工業高等専門学校同窓会

# 「北辰会」 会 報

## 第 49 号 (2023)

### 第 49 号の目次

学校の風景・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1	私のお仕事紹介します・・・・・・・・・・ 5
会長あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2	学内ニュース・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
校長あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3	コースからのメッセージ・・・・・・・・・・ 14
支部会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4	令和5年度 事務局短信・・・・・・・・・・ 16



【 同総会から学校へ寄付を行いました 記事は 11 ページ 】

# 会長あいさつ ～ 同窓会存続の危機 ～



【同窓会会長 館山 勝 (Z6)】

6月開催の理事会・評議会において、同窓会の存続を揺るがす衝撃的な報告が事務局からありました。同窓会への入会辞退者が急増しているとのこと。これまでは卒業生のほぼ全員が同窓会に入会していたのですが、一昨年は7名が、今年は何と約40名が入会を辞退したとのこと。もちろん、事務局の先生方にも、再三の入会依頼、会費請求をして頂いており、単に手をこまねいていた訳ではありません。

辞退者が急増した理由として、近年大学への進学率が高まっており、高専が最終学歴とならない学生が増えていることや、同窓会がリタイア世代中心の活動となっていて、会員サービスの世代間格差(現役・若年会員への貢献度や認知度の低さ)が入会へのモチベーションを阻害していることなどが考えられますが、これらはここ2～3年における状況変化ではありません。となると、昨年・今年の入会辞退者急増の原因は何なのでしょう？

考えられる理由のひとつに、コロナ禍の影響があります。最近卒業した学生は、5年の学生生活のうち3年間はコロナの禍中にあり、オンライン授業による一方向講義、部活やサークル活動の自粛、黙食など、人との繋がりが少ない生活に慣れてしまったことが考えられます。以前のように、最も多感な時期に、寮にて同じ釜の飯を食べて共に過ごした「圧倒的な仲間意識」が薄れているのです。

一方、ここ数年のデジタル技術の急進も理由の

一つとして考えられます。VRによる仮想現実体験やSNSなどのコミュニケーションツールは、リアルな場に集い対面でのコミュニケーションを基本とする同窓会活動とは対極の関係にあります。また、最近話題の生成AIの普及は著しく、いちいち人に相談しなくても、はるかに多くの情報を瞬時に提供してくれます。

ちなみに、同窓会のこのような状況に鑑み、以下の質問をchat-GPTに問いかけてみたところ、もっともらしい答えが返ってきましたので、その一部を紹介いたします。

Q: コロナ禍を経験し対面での会合も減り、同窓会への入会辞退者が増えている現状を踏まえた同窓会会誌での会長挨拶を書いてみて！

A: ～ 前略 ～ 現在、私たちが直面しているコロナ禍は、世界中の人々に大きな影響を与えました。対面での会合が制限され、社会的な距離を保つ必要がありました。この状況は、私たちの同窓会にも深刻な影響を及ぼしました。対面での会合やイベントの減少により、同窓会への入会辞退者が増えているという現実を直視しなければなりません。 ～ 中略 ～

同窓会への入会辞退者が増えている現状は、私たちに新たなアプローチを模索する機会を与えてくれました。同窓会の価値と意義を伝え、参加者がより多くの人々を巻き込むことができるような取り組みを進めてまいります。

～ 後略 ～ (Chat-GPT)

現在、同窓会では、現役学生に対する認知度向上策として、学校事業に対する寄付の充実、全国大会参加者への支援、卒業記念品の贈呈など、手を尽くしているところであります。

役員・事務局一同、生成AIに負けないリアルな運営計画を立て、この危機を乗り越えて行きたいと考えております。会員の皆様におかれましても、何卒、同窓会活動にご理解、ご支援を賜りますようお願いいたします。

# 校長あいさつ



【特別会員・学校長 土屋 範芳】  
(つちや のりよし)

2023年の4月から第10代校長として八戸高専に着任いたしました。前職は、東北大学環境科学研究科教授で、地質学を基礎にして、天然資源や地熱エネルギーを中心とする再生可能エネルギーの研究に携わってきました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

着任したため、にわか仕立てではありませんが、同窓会員の皆様に今の八戸高専の状況をお知らせしたいと思います。M、E、C、Zコース編成は変わらず各コース40人定員、1学年160人の定員を維持しております。少子化が進み青森の県立高校の定員は削減方向にありますが、八戸高専は推薦選抜の割合を高めるなどして、優秀な学生の確保に努めて定員を維持しております。2022年度より開始した国際的エンジニア育成特別選抜(9月に試験実施)では倍率が4倍近くとなっています。女子学生の割合は全体で約30%、また本科から専攻科、他大学への編入者の過去5年間の平均は45%であり、専攻科から大学院への進学率は50%となっており、徐々に進学意欲は高くなってきています。特に専攻科からは研究力の高い大学院への進学が増加してきています。また高専は男子校という印象が強かった私にとって、八戸高専の現況は、普通にキャンパスに女子学生がいる環境となっています。さらにもっともっと女子学生に魅力ある学校にしていく必要があると思っています。

また、国際化を進めており、留学生の受け入れ

(現在23名)、本校学生の海外高専での研修を積極的に進めています。また、「自主探究」という自ら課題設定を進めて「研究」をし、その結果を発信していく能力の開発に努めており、本校は創造的教育的先陣を切っていると自負しております。多くの先生方が国際化、またこの自主探究教育に積極的に取り組んでおり、日本人と留学生の混住型国際寮の新築など施設面での充実を含めて、本校の大きな特徴となっております。

さて、同窓会と聞くと、“同じ釜の飯を食った仲間”というイメージがあり、それはそれで何か居心地のいい空間を感じるものです。郷里が同じ、学校が同じというだけで何か親近感を感じる経験は誰もが持っていると思います。同窓会の根本的な意味としてこのことはとても大切なことですが、同窓会の機能をさらに高めるために令和2年度から、「一般財団法人はちのへ科学技術研究会」と共同で、卒業生の皆様の再就職支援を行っています。令和4年度は、13名の卒業生から問い合わせがあり、9名の再就職が決まりました。再就職を希望される卒業生の方は、「一般財団法人はちのへ科学技術研究会」(<https://hachinohe-kagaku.jp/> 八戸工業高等専門学校内 TEL:0178-38-6251)にご相談ください。

令和5年度の本校の人事異動ですが、圓山重直前校長が令和5年3月31日をもって定年退職となりました。先生の本校への永年のご尽力に敬意を表するとともに、心から感謝を申し上げます。

また、令和5年4月1日に総合科学教育科 新藤圭介助教、電気情報工学コース 秋田敏宏准教授、同 赤川徹朗助教、環境都市・建築デザインコース エンケホルワ助教、総合科学教育科 田村英門特命准教授、令和5年5月1日に総合科学教育科 草刈明美特命准教授が赴任されました。今後のご活躍を祈念致しております。

同窓会の皆様には、今後とも本校発展のために一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 支部会報告

## 関東支部より

【八戸高専同窓会関東支部長 戸田 和孝】

新型コロナも5類にランクが下がり、やっと普段の日常が戻ってきました。同窓生の皆様にはコロナ禍以前のように、お仕事や生活でご活躍されていることと存じます。

さて、同窓会関東支部では同窓会活動の一環としてのサロン会を開催しておりますが、久々に対面での講演会を都内で開催致しました。

### 第41回サロン会 2022年(令和4)11月19日開催

都内の貸し会議室にて、令和5年3月まで八戸高専学校長を勤められました圓山重直先生に「八戸高専自主探求が目指すものー15歳から始める次世代グローバルエンジニアの育成ー」というテーマで講演していただきました。圓山先生は、1973年に新潟県の新発田高校卒業後、東北大学に入学されました。その後、東北大学大学院で工学博士及び英国ロンドン大学にて科学修士も取得されました。1983年からは東北大学の研究所に勤務されて、研究分野での単著・共著書物や論文を多数発表され、その功績に伴い紫綬褒章を含む数々の賞も受賞されました。今回のサロン会では、八戸高専の学生を広く海外でも活躍できるように育成するために圓山先生が立案し、また実践されていることについて詳細にご説明頂きました。八戸高専の敷地内に国際混住寮も建設し、タイヤシン

ガポールやモンゴルからの留学生も受け入れて国際感覚をより多くの学生たちに身につけてもらう構想もお話し頂きました。海外で活躍するためには必須となる英語力のレベルを上げるために必要なカリキュラムの整備及び学年の進級の際に要求される TOEIC の点数についてもご説明がありました。さらに、青森県外に就職した後に、県内の優良企業に再就職を希望する同窓生のために再就職支援活動も行える、一般財団法人「はちのへ科学技術研究会」の設立についてもご説明頂きました。圓山先生にサロン会用の資料を最初に作成して頂いてから、コロナ禍で延期のため3年半もの月日が流れてしまい、延期の度に資料の追記や訂正をして頂き、多大なお手数をおかけしてしまいました。圓山先生が八戸高専を去られる前にサロン会を開催できたことに安堵するとともに圓山先生には大変感謝しております。

同窓会関東支部では同窓生にとって役に立つサロン会を随時開催しております。以下のメールアドレスにご連絡いただければ最新の関東支部の活動情况等をメールにてご連絡いたします。

[tod.kaz@r2.dion.ne.jp](mailto:tod.kaz@r2.dion.ne.jp)

同窓生の皆様のご理解とご協力に感謝しております。



【第41回サロン会の様子 (2022/11/19)】

# 私のお仕事紹介します

## 「バイオエンジニアとして八戸で働く」

合同酒精株式会社

C-46 回生 野月 あてな さん

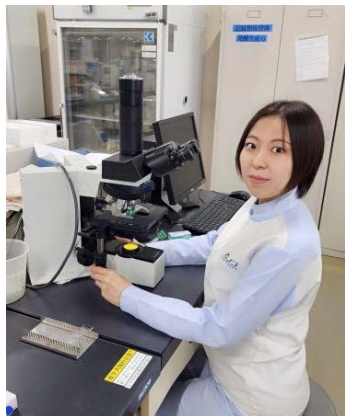
合同酒精(株)は、電気ブラン、ビッグマン、鍛高譚に代表される酒類事業を通じて100年間培ったバイオ技術をベースに、食の楽しさと健やかな暮らしを提供するため、酵素医薬品の開発・製造と微生物の発酵受託を展開しています。

八戸市城下にある酵素医薬品工場では、乳糖不耐症改善を目的とした乳糖分解酵素、再生医療分野の研究用試薬として使用するタンパク質分解酵素、大腸癌早期発見のための便潜血検査試薬など、20種類以上の製品を製造しています。

私は現在、酵素医薬品工場の品質管理グループに所属しています。一見地味に思える仕事かもしれませんが、その業務は酵素製品製造時の工程管理、新規発酵受託製品の開発検討、工程改善、食品安全マネジメントシステムの維持管理など、多岐に渡ります。特に新規製品の開発では、他社・他部署と協働して研究開発に取り組み、スーパーで購入できる製品となった時にはバイオエンジニアとしての誇らしさを感じます。

私は八戸高専を卒業後、長岡技大へ編入し、Leiden 大学病院での研究留学を経て、東北大学博士課程へ進学し、長年バイオ工学を専攻してきました。その後八戸へ戻る決断をしても、今までの知識を活かした仕事に従事できたのは、高専の恩師とのご縁あつてのことでした。

家族も仕事も自分も大切にしながら、八戸から世界へ、食や医療に貢献できる私の大好きなお仕事です。



## 「土木職公務員としての魅力」

京都市建設局道路環境整備課

Z-29 回生 木村 弘昭 さん

私は高専卒業後、大学への編入及び2度の公務員転職を経て、現在京都市役所で勤務しています。

これまで、主に土木職として農業用水路の改修工事や道路のり面の防災工事の設計、積算、工事監理を担当してきました。

現在は京都市の「無電柱化事業」の工事担当をしています。

京都市では「良好な都市景観の創造」、「都市防災機能の向上」、「安全で快適な歩行空間確保」の観点から無電柱化事業に取り組んでおり、産寧坂や先斗町などの主要観光地でも無電柱化を進めています。これらに一度は訪れたことがある方も多いのではないのでしょうか。

無電柱化は合意形成に時間を要し、費用も高額のため、一朝一夕にできるものではありません。いわゆる「土木技術」だけではなく、「多様な関係者との利害調整」や「限られた予算・人員等の最適な配分」、これらを市民の方々にご理解いただくための「適切なコミュニケーション力」などが求められ、土木技術者としての魅力が詰まった仕事だと思います。

また、プライベートでは技術士取得支援のボランティア講師をしており、公私ともにエンジニアとして日々研さんしています。

京都市へお越しの際は無電柱化された街並みもぜひ見て行ってください。



# 学内ニュース

## 定年退職教員のご挨拶

### 「これからの八戸高専に期待するもの」



【校長 圓山 重直 先生】

2017年4月から6年間八戸高専の校長を務めさせていただきました。校長就任の後半3年間は、コロナ禍により課外活動などが大きく制約されたために、当時の在校生の皆さんには辛い期間でした。

八戸高専の学生諸君や教職員のすばらしさをより発揮するために、私の在任期間中いくつかの改革を行ってきました。まず、本校独自の取り組みである自主探求を年次進行で改革して、独自の研究テーマを自ら発見し、それを実行する教育プログラムとしました。また、国際自主探求を発展させ、学生諸君が海外に行って活躍できるような制度を整備しました。

もう一つの大きな取り組みは、留学生と日本人が共に生活する混住型国際寮の整備です。2020年度に本校のE棟を国際寮へ改修しました。それが契機となり、文科省から高専機構に大型予算がつかれました。その後、21年度にI棟、22年度にN棟が完成しました。さらに、23度にもう1棟の国際寮が竣工予定であり、本校の国際混住寮の収容

人数は200名以上となります。

また、「機械システムデザインコース」を「機械・医工学コース」に変更し、医工学を目指す優秀な人材確保を目指しました。

2023年度入試からは、「国際的エンジニア特別選抜」制度を新設し、素晴らしい素質を持った学生を受け入れることができました。今後、他県から複数校を受験する制度が充実してきますので、青森県外に在住の卒業生のご子の入学が一層容易になります。

これからは、これらの国際寮や国際自主探求、新しい入学制度等を活用し、国際的な人材を育成する特色ある高専として、さらに発展することを期待しています。

卒業生と関係のある制度としては、2019年度に一般財団法人「はちのへ科学技術研究会」を設立しました。この財団の目的は、卒業生の再就職支援と八戸高専の学生・教職員支援です。県外に就職した卒業生が青森県内に再就職するとき、この財団を活用することによって、より良い条件で再就職することが可能です。この財団もようやく卒業生の皆様に認知され始め、再就職支援の実績も徐々に増加しています。卒業生の皆様で、新しい職場での新たな展開をお考えの方は「はちのへ科学技術研究会」の事務局に相談していただけるとありがたいです。再就職は青森県内だけでなく、県外の企業で「八戸工業高等専門学校産業技術振興会」会員の企業への転職も可能です。

さて、わたくしの近況としては、2023年4月から、東北大学の総務企画部の社会連携コーディネ

ーターとして、東北大学校友会（同窓会を中心とした校友会で「萩友会」といいます）のお世話や東北大学基金のお手伝いをしています。萩友会は東北大学の創立 100 周年を機に設立されましたが、この会の創設には当初から私が関わっていたので、古巣に戻った感があります。

勤務地は東北大学の青葉山工学部キャンパスにある未来科学技術共同研究センターですが、時々本校の卒業生で東北大学大学院等に通っている学生と会うことがあります。皆さんが「校長先生」と言って声をかけてくれるので、とても嬉しいです。

東北大学の学生諸君は、教員とすれちがっても挨拶しないし、八戸高専と比べるとなんとなく暗

い感じがするのですが、本校の卒業生は、明るく楽しそうにやっています。私が面談した学生は研究が面白くて楽しそうでした。在校生の皆さんは、八戸高専で十分実力をつけて、東北大学などに進学してさらに羽ばたいてほしいと考えています。

八戸高専は自主探求や国際交流などグローバルエンジニアを育成するために、独自の教育プログラムを行っています。八戸高専の教員の皆様の献身的協力で、それらを習得した卒業生の皆さんは、素晴らしい実力を持っていると思います。皆さんの自身の実力を十分に生かして、社会で大いに活躍してほしいと考えております。



【生まれ変わった N 棟(北寮)】

### トピックス

さらなる国際寮整備のため、「池」と管理棟と小食堂が解体されました



寮祭の打ち上げで池に飛び込んだなあ

## 新任教員紹介

### 【総合科学教育科

特命准教授 田村 英門 先生】



はじめまして。田村英門（タムラヒデト）と申します。出身は津軽の黒石市、専門は英語教育です。大学卒業後、青森県三八地方で県立高校の教員をしていました。人生の3分の2を八戸市とその周辺で過ごしてきた計算になります。退職後、縁あって、本校で3年間「非常勤講師」等として勤務させていただいておりましたが、今年度、特命准教授の職を拝命いたしました。具体的には、「グローバル事業」の一部分を担当しております。

ニューヨークで所謂9.11のテロが起きた時、私は旧文部省の派遣により、オハイオ州コロンバスにおり、全米学生数最多と言われていたオハイオ州立大学に通っていました。テロの直後一変した街とキャンパスの雰囲気、その中で求められる日本人としての意見と立場。「グローバル」という言葉を自分なりに解釈しようとする時、その時経験した出来事が必ずよみがえってきます。

長く携わった高校と現職の高専の違いに未だ戸惑いを感じる場面もありますが、八戸高専の学生から煌めくようなエネルギーと刺激を受け、充実した時間を過ごすことができている。八戸高専の学生のため、力を尽くすつもりでおりますので、今後とも、どうぞよろしくお願いたします。

### 【総合科学教育科

特命准教授 草刈 明美 先生】



はじめまして。5月に着任した草刈明美です。前は会津大学にいました。東京都出身ですが、人生で一番長く生活したのは嫁ぎ先の仙台です。日本語教員歴は25年で、タイ、モンゴル、ベトナム、インドネシア、ネパール、バングラデシュのほか、中国、欧米を含む30ヶ国以上の留学生に日本語を教えてきました。全く日本語が話せない人から日本企業に就職したい人まで、レベルは様々です。英語と中国語が少し話せますが、授業では日本語で日本語を教えています。いつも外国人留学生と接しているため、「言い回しがダイレクトすぎる」という傾向があります。日本人らしい奥ゆかしさとは対極ですので、デリカシーのない人に見えるかもしれません。

八戸には家族の半分が住んでいます。発達障害（ASD）の長男と、彼を支える次男との3人暮らしです。プログラミングのような正確なやりとりを会話に求める長男と、感覚的でロジカルとは言い難い私との《不協和音》が我が家の音楽です。

八戸は初めてですが、街は活気があり、テキパキした働き者が多い印象です。ここで長く勤めたいです。どうぞよろしくお願いたします。



【総合科学教育科 助教 新藤 圭介 先生】



はじめまして。今年度から着任いたしました新藤と申します。総合科学教育科の数学科に所属し、主に低学年の学生の授業を担当させていただいています。学生が高学年に進んだ際に、自身の専門科目を深く理解するためには、低学年のうちに基礎的な学力を身につけることが不可欠です。とりわけ、工学の世界では、数式が頻繁に登場するので、数学の知識が大切であると感じます。学生が将来のために、楽しく懸命に学べるように、授業や、その他の学習時間でサポートを行いたいと考えています。

私の専門分野は非線形解析学や凸解析学です。アダマール空間の凸関数の最小化問題や、均衡問題などが研究対象です。これらの問題を解く道具の一つとして、リゾルベント写像があります。自分は、このリゾルベント写像について興味があり、研究を行ってきました。この写像の性質の研究や、利用方法については、まだ残されている課題も多いので、今後も調査を続けていただきたいと思います。また、これらの研究結果を、工学の分野に応用する方法も検討したいです。

いろいろと未熟なところも多いと思いますが、精一杯頑張りますので、これから何卒よろしくお願いたします。

【産業システム工学科 電気情報工学コース  
准教授 秋田 敏宏 先生】



令和5年4月1日付で電気情報工学コース准教授として着任いたしました秋田敏宏と申します。私は八戸高専電気工学科第30回の卒業生です。卒業後岩手大学に編入学し、博士の学位を取得しました。その後一関高専に採用となり、高専教育に携わってまいりました。平成27・28年度は、高専間人事交流により八戸高専に在籍しておりましたので、学生時代・人事交流時代に続き3度目の八戸高専になります。

八戸高専在籍時は高電界工学、岩手大学在籍時は無線・アンテナ工学および計測工学の分野で研究しておりました。現在はそれらの知見を活かして組込みシステムに関する研究開発を行っております。例えば、ソフトウェア無線を用いた電波観測・解析装置の開発、組込マイコンを用いた障がいをもつ方々への支援機器の開発、分解組立型電気自動車教材システムの開発、無給電走行EVの走行効率に関する研究などを行っており、多くは産学官連携で進めております。

高専学生のパワーには、いつも驚かされます。新技術や起業などにチャレンジしていく学生が見られ、自分が学生のとくとは比べ物にならないほど凄いです。彼らのパワーに今後も刺激を受けつつ、精進してまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

【産業システム工学科 電気情報工学コース  
助教 赤川 徹朗 先生】

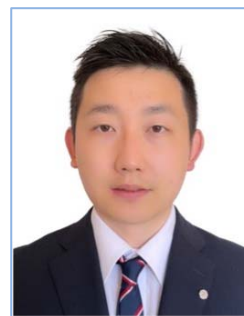


本年4月より着任いたしました赤川徹朗と申します。私の出身は秋田県の大仙市です。私が育った地域は田園風景が広がる田舎で、しばしば通学路に野生の猿が出没するような自然の中で育ちました。高校卒業後は秋田から離れて岩手県立大学に博士修了まで在籍し、その後は筑波大学システム情報系の研究員として2年間勤務しました。慣れ親しんだ東北を離れて関東に住む中で、自分には東北の空気のほうが合うなど思い至り、この度は東北に帰ってくる思いで八戸高専に着任させていただきました。

私は多数のロボットが協力して目的を達成する群ロボットシステムに興味があり、県立大学在籍時はロボット同士が協力する際に必要となるロボット間の赤外線通信システムを開発しました。現在は「自己組織ロボット」と呼ばれる「ロボット同士を合体／変形させることで、多様な役割を担うことが可能なロボット」の開発を進めています。

私がこれまでの活動を通して感じてきた学問の楽しさを八戸高専の学生にも伝えてゆく研究／教育活動に邁進してまいります。

【産業システム工学科 環境都市・建築デザインコース 助教 エンケ ホルワ 先生】



はじめまして。今年の4月から採用となりました、エンケホルワと申します（モンゴル語で世界平和という意味です）。2014年に内モンゴル工業大学を卒業し、2016年に日本へ留学し、名古屋工業大学の歴史的建造物に関する研究を行う研究室に所属し、2022年3月に博士号を取得後、2023年3月まで建築設計事務所に建築意匠設計に関わる仕事を行って参りました。今後の教育活動においては、建築歴史・意匠、建築・都市計画、建築設計、建築構法などに関連する授業を担当していきたいです。BIMなど最先端の建築技術を建築科目中に積極的に取り込み、より実践的な授業内容を学生に共有していきたいと思っております。

また、モンゴル語、日本語、英語、中国語などの言語能力や海外留学経験も活かして、専門領域における日本と海外の国々との架け橋となり、その他の学内業務や地域貢献などのプロジェクトにも積極的に関わりを持つことにより、高専の教員としての責務を果たすために邁進したいと考えています。日本の東北地域も今年から初めて体験しており、地元の方々はとても親切で、八戸の美しい山水に毎日心を純化されております。この地域に深く根を下ろし、世界と繋がる活発的都市に貢献していきたいと考えています。至らぬ点・未熟な点が多いですが、今後ともよろしく願いいたします。

# 令和4年度後半の学内ニュース

## 第34回 アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト2022（高専ロボコン）

令和4年10月2日（土）に仙台高専広瀬キャンパスで開催されました。競技課題は「ミラクル☆フライ ～空へ舞いあがれ！～」で、は自作した紙飛行機をロボットが飛ばして、5か所の円形スポット、2か所の縦長滑走路、2種類の筒型ベースの中にランディングさせていく対戦型競技です。

競技の結果、Aチームは第3位に入賞し、デザイン賞と特別賞（ローム株式会社）を受賞しましたが、残念ながら全国大会には選出されませんでした。来年こそは期待したいと思います。



【 ロボコン2022 】

## 同総会から学校への寄付について

昨年11月の理事会・評議会において、コロナ禍により総会や意見交換会等が長らく開催されていないことから、余剰金について学校に寄付を行うことが了承されました。

これを受け、圓山校長のご配慮により、令和5年1月20日（金）八戸高専にて60万円相当の寄付目録の受領式が行われ、同窓会からは舘山会長、榎本副会長、南事務局長が出席しました。学校と学生会は学生生活環境の改善として福利厚生会館設備のリニューアルを計画しました。その一環として、寄付金のうち40万円分で福利厚生会館1階にデジタルホワイトボード1台を設置、および学生昇降口にデジタルサイネージ1台を設置しました。そのほか20万円相当の図書を購入しました。

また、卒業式にあたり卒業記念品として、北辰会ロゴ及び同窓会HP QRコード入りモバイルバッテリーを卒業生に贈呈しました。



【 受領式の様子 】



【 モバイルバッテリー 】

# 令和5年度前半の学内ニュース

## 第60回 東北地区高専体育大会

令和5年度の東北地区高専体育大会は、7月1日（土）～7月2日（日）の期間で開催され、八戸ではソフトテニス競技・柔道競技が行われました。（陸上競技は7月9日、バドミントン競技は6月24日～25日、ラグビー競技は10月21日～24日開催）

団体の部では、バレーボール部男子が優勝・卓球部女子が優勝の成績を残し全国大会への出場切符を手に入れました。

個人の部では、陸上競技部・ソフトテニス部・柔道部・卓球部・水泳競技部の選手達が優秀な成績を残し全国大会への出場切符を手に入れました。各競技結果詳細につきましては、八戸高専のHPよりご確認ください。



【 水泳競技部 】



八戸高専 HP

## 同窓会から学生活動に寄付をしました

令和5年6月に平川市で開催された青森県高校総体でウェイトリフティング競技女子55kg級において、本校からの出場選手が県高校新記録で優勝しました。同窓会では、インターハイでの更なる活躍を祈念して活動費2万円を寄付いたしました。そして、令和5年8月に北海道士別市で開催されたインターハイでは同級第5位と好成績を収めました。



【贈呈式の様子】



県高校総体の記事



インターハイの記事

# 令和5年度後半各種大会日程等

## 第58回 全国高専体育大会

令和5年度の全国高専体育大会は、東京高専を主管校として開催されました。各競技の開催日程および結果につきましては、全国高等専門学校連合会のHPよりご確認ください。



全国高等専門学校連合会

## 本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ 2023 第42回 全国大会 (エコラン)

9月9日(土)～10日(日)

会場：モビリティリゾートもてぎ

(栃木県茂木町)

## 第36回 アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト2023 (高専ロボコン)

競技テーマ：『もぎもぎ!フルーツGOラウンド』

東北大会：10月8日(日)

会場：秋田県立武道館

全国大会：11月26日(日)

会場：両国国技館



高専ロボコン

## 第34回 全国高等専門学校 プログラミングコンテスト (全国高等専門学校連合会)

メインテーマ：「みせよっさ∞の可能性」

本選：10月14日(土)～15日(日)

会場：サンドーム福井

(主管校 福井高専)

課題部門「オンラインで生み出す新しい楽しみ」

自由部門「自由なテーマで独創的な作品」

競技部門「決戦! n乗谷城」



高専プロコン

## 第20回 全国高等専門学校 デザインコンペティション デザコン2023 in 舞鶴

メインテーマ：session～新しい協働の形～

本選：11月11日(土)～12日(日)

会場：舞鶴市総合文化会館(京都府舞鶴市)

(主管校 舞鶴高専)



高専デザコン

# コースからのメッセージ

## 機 械 ・ 医 工 学 コ ー ス

コース長 村山 和裕

【進路状況】令和4年度機械システムデザインコースを卒業した31名の進路は、就職13名、進学15名、その他3名で、2年連続で進学者数が就職者数を上回りました。就職者のうち県内就職者数は3名(23%)でした。進学者のうち5名は専攻科に進み、更に2年間、本校において勉学に励みます。専攻科の修了生は7人で、就職3名、大学院進学が4名でした。なお、求人倍率は本科59倍、専攻科244倍と良好で、コロナ禍の影響は見られませんでした。令和5年度は、本科45名、専攻科7名が卒業修了予定です。本科は27名が就職希望、18名が進学希望と、就職希望者が多くなっています。専攻科は3名が就職希望、4名が進学希望です。

【終わりに】過去3年間は、オンライン授業が断続的に繰り返され、学生が楽しみにしていた行事等も中止や規模縮小を余儀なくされていましたが、ようやくコロナ禍も明けて、本校にもコロナ禍前の日常が戻りつつあります。皆様方におかれましては、これまでと同様に本コースに対するご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 電 気 情 報 工 学 コ ー ス

コース長 野中 崇

【進路状況】令和4年度は、本科卒業生37名中14名(39%)が就職、22名が(61%)進学、その他1名でした。進学者のうち、専攻科には5名進学しました。専攻科修了生5名中4名が就職、1名が進学し、九州大学大学院に1名進学しました。本科求人数789社、本科求人倍率56.4倍、専攻科求人数755社、専攻科求人倍率188倍となり、求人数は安定して良好であり、本科の進学率が増加傾向のため、求人倍率は上昇傾向です。

令和5年度は、本科44名卒業予定、専攻科7名修了予定で、本科は就職希望者17名、進学希望者26名、専攻科は就職希望者2名、専攻科進学希望者5名です。近年の就職と進学の割合は、本科は進学が5割から6割の傾向、専攻科は進学が6割強となっています。

【本コースの状況】4月より、八戸高専卒業生の秋田敏宏先生が一関高専より八戸高専に移動され、また、赤川徹朗先生が助教として赴任され、2名の先生が本コースの教員に加わり、勤務しております。

【最後に】卒業生・修了生の皆様方には、多方面に渡りご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。皆様方のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

## マテリアル・バイオ工学コース

コース長 齊藤 貴之

【進路状況】令和4年度マテリアル・バイオ工学コース卒業生は40名（男22女18）で、就職14名（男5女9）、進学24名（男15女9）、その他2名（男2）でした。専攻科修了生は7名（男3女4）で、就職4名（男1女3）、進学3名（男2女1）でした。進学では、今年度も本科は進学の割合が高くなり、全国各地の大学に進学しています。また就職では、県内希望は昨年度より微増し、地元就職者は本科・専攻科あわせて7名（39%）です。

令和5年度の本科5年生は42名（男20女22）で、就職希望18名（男9女9）、進学希望24名（男11女13）です。専攻科2年生は5名（男2女3）で就職希望1名（女1）、進学希望4名（男2女2）です。今年度は女子の進学希望が多くなっています。

【最後に】今年度も本科にはタイの留学生2名が入学し、コース全体の留学生は8名です。また、長谷川章先生が福井高専校長として異動されました。本校では今年度からコロナ禍前の状態に戻り、各種行事はそのまま実施できています。夏休み中、一部の学生は海外研修に参加しています。高専祭も通常通り実施予定で、コース展示もあります。卒業生の皆様もぜひご参加ください。卒業生の皆様には、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

## 環境都市・建築デザインコース

コース長 藤原 広和

卒業生の皆様には、日頃より本コースへのご支援をいただきまして、誠に世話になっており、心よりお礼申し上げます。本コースの今年3月卒業生・修了生の進路について報告いたします。

この3月に本科卒業生36名、専攻科修了生1名を送り出しました。本科卒業生は18名が就職、17名が進学しました。就職の内訳は、公務員が7名、企業就職者は11名であり、鉄道、電力、水道等のインフラ系企業、ゼネコン、建設コンサルタント等に就職しています。これらのうち、青森県内企業・機関に就職した卒業生は2名でした（R04年3月卒生は5名）。進学者は本校専攻科へ4名、大学が13名です。また、専攻科修了生は、大学院進学です。

今年度の5年生は40名在籍で、就職希望者が24名（内8名が公務員志望）、進学希望が16名です。専攻科修了予定者は5名で、就職希望者2名、大学院進学希望者3名です。

私自身はコース長を併任してから求人企業等と面談する機会が多いのですが、懐かしい卒業生ともお会いすることもあり、昔話で盛り上がることも多々あります。

卒業生の皆様には今後とも引き続き、本コースへのご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

# 令和5年度 事務局短信

## ★第26回八戸高専同窓会 総会・特別講演会・懇親会の案内

1. 日時：令和5年10月7日（土）
2. 場所：八戸グランドホテル 3階「雅」（八戸市番町14番地、電話0178-46-1234）
3. 総会：14:00～15:00  
議案：(1)令和3～4年度事業報告  
(2)令和4年度決算報告と令和5年度会計経過報告  
(3)名簿DBシステム改修報告  
(4)役員改選  
(5)その他
4. 特別講演会：15:20～16:40  
講演者 八戸工業高等専門学校 校長 土屋 範芳 先生  
「八戸高専創立60周年：いまの高専に求められるもの」  
講演者 環境緑化工業（株）代表取締役 山谷 幹樹 様（Z科第32回生）  
「造園業の剪定・伐採廃材を活用した緑の循環事業への取り組み」
5. 懇親会：17:00～19:00 会費：3,000円

## ★ホームページ（HP）について

同窓会のホームページ（<http://www.hachinohe-ct-dsk.jp/>）を開設しております。これに伴い、HP上からの会費等のクレジット支払いや、住所変更等の書式ダウンロードも可能となっております。なお、当面、従来の郵送による会費納入のお願い、住所調査も併用いたします。

## ★10年会費（10,000円）納入のお願い

今年は、平成15年度3月卒業（MEC-36回生，Z-31回生）および平成25年3月卒業（MEC-46回生，Z-41回生）の方が10年会費納入期にあたります。また、それよりも以前に卒業された会員の皆さんで、10年前に会費を納入していただいた方々も納入時期となります。HP上から会費をクレジットカードにより支払いをお願いいたします。平成30年度の第25回総会で、永年会費への移行（年齢による永年会費の低減措置あり）および会費の変額が承認されました。具体的には、同窓会HPを参照いただきたいのですが、正会員及び準会員は10年会費として10,000円を納めるものとします。但し、永年会費として一時金（～29歳で30,000円、30～39歳で25,000円、40～49歳で20,000円、50～59歳で15,000円、60歳以上で10,000円）を納めた方は、その後の会費を免除します。また、そ



れ以外の同窓生で未納の方も会費納入をお願いいたします。

(注) 今年 7 月に送付済みの同窓会からの封筒に添付されている宛名シールに星印があります。星印の数が 10 年会費納入までの残りの年数を示しています。従って、星印の無い方が会費を納入する必要があります。

#### ★住所調査葉書

同窓会名簿データ更新のため、住所や職場の変更のあった方は今年 7 月に送付済みの住所調査葉書にて同窓会宛に返送してください。また、同窓会では経費削減のため会報発行、事務連絡を電子メールで実施することを検討しています。この機会に E-mail アドレスの記入をお願いいたします。

なお、同窓会名簿で非公開としたい情報は、はがきのチェック欄にレ印を記入ください。ただし、同窓会の会員データとして情報が必要ですので住所等は必ず記載してください。

暫くの間、同窓会から郵便物が届かない方は、ホームページ (HP) から住所記載の書式をダウンロードし同窓会まで郵送により連絡してください。

#### ★会員名簿 (令和 5 年 1 月版) の注文方法のお知らせ

会員名簿 (CD 版) を令和 5 年 1 月に作成しました。令和 5 年度版の名簿の購入を希望される方は、HP 上からクレジットカードにより代金 (送料込 1,500 円) の支払いをお願いいたします。支払をお忘れにならないようご注意ください。

#### ★令和 4 年度の事業報告

令和 4 年度は以下の事業を行いました。

年度	月	項 目
令和 4 年度	4/1	事務局打ち合わせ会議開催 (八戸)
	4 月	正副会長、事務局打ち合わせ会議開催 (メールでの打合せ)
	5/28	理事会・評議会開催 (八戸)
	7/23	住所調査実施と総会案内
	9/18	会報第 48 号 WEB 発行
	10/1	総会 (八戸) → 次年度に延期
	11/26	理事会・評議会開催 (八戸)
	1 月	名簿発行
	3/18	新入会員 (第 56 期生) 入会式実施 (卒業式)

**★同窓会からの郵便の送付先について**

同窓会からの郵便の送付先を、勤務先にしたい方は住所調査葉書に記載欄を設けておりますのでご利用ください。

**★クラス会活動補助金について**

同窓会では、クラス会活動の活性化を目的に「クラス会活動補助金」が予算化されております。活動助成金として、10名以上の集会に対し、年1回、2万円を上限に参加者数×千円を支給します。連絡先を明記したクラス名簿およびクラス会報告（写真などを含む）が義務付けられます。

**★その他**

同窓会は個人情報保護法の規制団体ではありませんが、連絡いただいた情報の管理は厳格に行っております。また、住所等の情報について特別な事情がある場合には同窓会事務局まで連絡してください。